

はじめに

土木とは、道路や橋、港やダムなどの施設を建設するだけではありません。壊れてしまった施設を直していつも安全な状態に保ったり、使いやすく改良したりすることや、住みよいまちをつくることも土木の仕事です。

土木の仕事は、わたしたちの暮らしを災害から守り、いつでも快適で豊かにくらすことができるようにするために役立っています。

この本の中では、そういった土木のいろいろな役割を紹介していきます。

もくじ

はじめに.....01

第1章 災害から暮らしを守る

地震や津波、洪水、土砂くずれ、雪崩などの自然災害は大きな被害を引き起こすことがあります。災害から立ち直るときや災害を防ぐために行われる土木の働きを紹介します。

- ① 地震から新潟を守る!.....03
- ② 高波から新潟を守る!.....06
- ③ 水害から新潟を守る!.....07
- ④ 土砂災害から新潟を守る!.....09
- ⑤ 雪から新潟を守る!.....11
- まとめ.....13

第2章 暮らしをつなげ、ささえる

土木は、わたしたちの便利な生活をしっかりとささえています。ここでは道路や空港、港がどんな働きをしているか、また、川の水はどんな役割をもっているかなどを詳しく紹介します。

- ① 快適な生活のヒミツ.....14
- ② 道路でつながる新潟.....15
- ③ 空港でつながる新潟.....19
- ④ 港でつながる新潟.....20
- ⑤ 暮らしをささえる川の水.....21
- まとめ.....23

付録 見てみよう! 調べてみよう! 新潟の土木.....24

第3章 住みやすいまちをつくる

わたしたちがくらす「まち」は、安全・快適で住みやすくなければなりません。「まちづくり」がどのように計画され、進んでいくか、また、「まち」にはどんな働きがあるかを紹介します。

- ① まちづくりのしくみ.....25
- ② 景観の良い美しいまちへ.....27
- ③ やさしいまちをつくる.....28
- ④ まちの緑と公園.....29
- ⑤ 水を「再生」する下水道.....31
- まとめ.....33

おわりに.....34

保護者、教職員の方へ

私たち国民の生活を安全、安心、快適で豊かな実りあるものとするために、様々な社会資本整備が行われています。この冊子は、道路や橋、ダムの建設から病院、学校等の公共建築物の整備まで、社会資本整備の色々な事例や仕組みを紹介しながら、その役割、重要性、必要性について分かりやすく理解してもらうことを目的として作成しました。

また、本書は、小学校高学年の児童を対象としており、国、県、市町村がどのような社会資本整備を行っているか、そして日々の生活環境の中のこういった場面を担っているか、などが理解できるようになることをねらいとしています。

なお、記事内容は全て新潟県内のものを取り上げています。自らの生活に密着した題材とすることで、より一層の学習効果が得られることを願っています。

さあ、「土木」を知る旅に出よう!



ツッチー

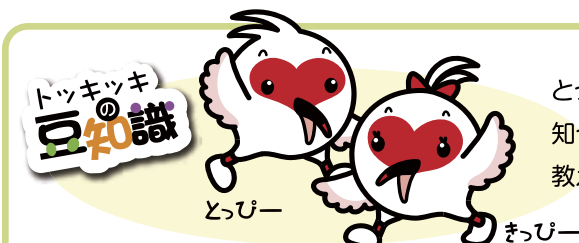
キララ

けん 建にいさん

しょうらい ゆめ
将来の夢は新潟と佐渡の間に橋をかけること。

おうちはお花屋さん。
学校では緑化委員もやっているよ。

新潟の土木のことならおまかせあれ。
わたしたちの暮らしの中にある「土木」の働きをわかりやすく教えてくださいます。



とっぴー

きっぴー

とっぴーときっぴーも、ときどき登場!
知ってるほど! な土木の豆知識を教えてくださいますよ。